

KDLスタッフが選ぶ！ 今月のおすすめ資料

2024 November

11月20日はトランスジェンダー追悼の日です。世界各地で、トランスジェンダーの人々がトランスジェンダーであることを理由に命を奪われることがあります。その背後には、女性嫌悪、人種差別、外国人嫌悪、セックスワーカーへの偏見など、複数の要因が複雑に絡み合っています。では、トランスジェンダーとは何を意味するのでしょうか？基本的なところから始め、一人ひとりの物語を通じて、より深く理解を進めていきましょう。



モテる美青年ブランドン・ティーナが、女性器を持つことで暴力を受け、命を奪われた。この悲劇を、ジェンダーに対する理解が深まり、語彙が豊かになった今、私たちはどのように語り直せるのだろうか？



自分を不完全な存在だと思い込み、自信を持たないまま社会生活を送るひとりのトランス女性が新たな一歩を踏み出そうとする。過去や昔の知人とどう向き合うべきなのか？



1926年、デンマークで暮らす、風景画家と肖像画家の夫婦。ある日、妻が描く肖像画女性モデルの代役を引き受けた夫がストッキングを身に着けたとき、自らの女性性を自覚する。



トランスジェンダーとはどのような人たちか、性別を変えるには、差別の実態、社会に求められることについて多様なデータをもとに明らかにする。トランスジェンダーについて知りたい当事者及び力になりたい人にぜひ読んでほしい一冊。



イギリスのトランスジェンダーの状況をベースに書かれている一冊。社会運動から国家制度まで、日本にも共通するトランスジェンダーが経験する本当の「問題」を論じている。



「性別を生きる」って、どういうこと？トランスジェンダーについての基礎的な情報、性別分けスペースのこと、「トランス差別はいけないけれど気になる」疑問など、21個の大きなQ、そこから派生する65個の問いと答えをまとめる。